

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	多治見市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	多治見市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,546	A	1,546	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27当初	中間目標値 H31末	最終目標値 H31末
1	多治見処理区下水処理人口普及率を92.9%（H27）から95.2%（H31）に増加させる。 多治見処理区下水道処理人口普及率 多治見処理区の下水道を利用できる人口（人） / 多治見処理区内の総人口（人）	93%	94%	95%
2	市之倉処理区下水処理人口普及率を95.3%（H27）から98.0%（H31）に増加させる。 市之倉処理区下水道処理人口普及率 市之倉処理区の下水道を利用できる人口（人） / 多治見処理区内の総人口（人）	96%	96%	98%
3	笠原処理区下水処理人口普及率を88.6%（H27）から91.6%（H31）に増加させる。 笠原処理区下水道処理人口普及率 笠原処理区の下水道を利用できる人口（人） / 笠原処理区内の総人口（人）	88%	91%	91%
4	合流式下水道改善目標値の効果確認を実施（目標値：汚濁負荷量（負荷量（BOD年間放流負荷量）を113 t（H22）から事業完了時に97 t（H26）に減少させる。） 合流式下水道改善（汚濁負荷量の削減） BOD年間放流負荷量（t/年）により算定（BODの数値が大きいほど汚れていると判断）	97 t	97 t	97 t

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	-	-	合流改善事業の事後評価	効果検証資料作成 N=1式	多治見市						7	-	
	A07-002	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠(汚水)	新設	西部地区面整備(未普及解消)	200mm等 L=2km A=29ha	多治見市						199	-	
	A07-003	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠(汚水)	新設	中部第7号面整備(未普及解消)	150mm L=2km A=12ha	多治見市						17	-	
	A07-004	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠(汚水)	新設	姫污水幹線及び地区面整備(未普及解消)	250mm等 L=10km A=50ha	多治見市						1,323	-	
	A07-005	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠(汚水)	新設	笠原池田接続管設計・整備(未普及解消)	500mm等 L=7km A=100ha	多治見市						0	-	
												小計						1,546	
												合計						1,546	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 多治見市にて実施	事後評価の実施時期 令和2年4月
	公表の方法 多治見市公式ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率が向上した。 これにより、市民が永続的に日常生活の中で実感できる、安心・安全かつ快適な暮らしの実現に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き、計画的かつ効率的に下水道整備を進めていき、一人でも多くの市民が安全・安心かつ快適な日常生活が実現できるように、事業を進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	多治見処理区下水道処理人口普及率を増加させる。	
	最終目標値	95%
最終実績値	96%	
2	市之倉処理区下水道処理人口普及率を増加させる。	
	最終目標値	98%
最終実績値	96%	
3	笠原処理区下水道処理人口普及率を増加させる。	
	最終目標値	91%
最終実績値	93%	
4	合流式下水道改善目標値の効果確認を実施する。	
	最終目標値	97 t
最終実績値	97 t	